

TJB 学生編集部特集：新入生歓迎委員会

新歓委員長として、二言三言

石川 翔一（筑波大学 生物学類 2 年、新歓委員長）

昨年の 11 月 or 12 月頃に新歓委員が発足し、新歓委員長に選ばれました。実際に本格的な仕事が始まるのは今年 4 月からでしたが、それまでの準備期間の約 4 ヶ月はすぐに過ぎ去った感じがありました。

新歓委員の仕事はもちろん、新入生を迎えて盛り上げ、楽しませるのですが、それ以外にも想像以上に事務的な仕事が多く、特に 3 月中は奔走していた気がします。今までの新歓委員の労苦が身に沁みて分かりました。あまり事務的なことが得意でない自分にとっては、この月はまさにてんでこ舞いという感じでした(笑)。

そうこうしているといつの間にか 1 年生が筑波大に入学し、心の準備ができる前に新歓行事が始まってしまいました。ですが、いざ始まると物事がスムーズに進みました。これも新歓委員の尽力のおかげです。また、新歓に対してあまり肩を張らずに構えすぎなかったことが逆に良かったのかもしれません。(これは自分だけか?!)

生物学類として行った新歓行事は、宿舍入居手伝い、顔見せ会、オリエンテーション、花見、学類パーティー、学類合宿の 6 つでした。どの行事も各行事担当の班長を中心としてよく準備されており、よかったと思います。1 年生はもちろん、新歓委員も楽しんでいる様子でした。

ここまでは昨年と同様ですが、今年は旧第二学群を構成する 5 学類全体で、3 日間にも及ぶ「第二エリアパーティー」も行いました。このパーティーには自分も含め他の 4 学類の新歓委員長が協力し合い、4 ヶ月ほど構想を練り、開催しました。開催にあたり、ここでも多くの新歓委員の協力を得ました。かなり大規模な試みでしたので不安もありましたが、蓋を開けてみれば 300 人以上の 1 年生が参加してくれ、盛況のうちに終わりました。

新歓時期は慌てた毎日で正直大変だな、ということもありましたが、今思い返せばすぐに終わってしまったな、という気がします。かつて自分の師が、日々が早く過ぎ去ると感じるのであれば、それは充実した日々を送れている何よりの証拠だと言っておりましたが、そういった意味で 4 月はステキな毎日が送れました。実際自分の手帳を開いてみると、ほぼ毎日何かしらの予定が入っています。悪魔に見えた 4 月分の予定を書いたページも、激しく暇な今を思うと天使にさえ(?)見えます。

かつて自分が 1 年生だった 1 年前、当時の新歓委員である 2 年生の先輩方にはたくさん面倒を見ていただきました。左耳に 2 つのリングピアス、髪はツンツン、目つきは悪い、etc... と明らかに第一印象最悪な自分に、様々なこと教えていただき、楽しませてくれました。その時、翌年には自分も新歓委員になろうと決意しました。今年の 1 年生もそんなことを思う人が、是非とも来年の新歓を盛り上げていってくれればな、と思います。

最後に、自分を新歓委員長に選出し、多大なる協力をしてくれた新歓委員のみんな、新歓に際して惜しみない援助をしてくれた生物学類の 2 年生、多忙にも関わらず新歓行事に参加して下さった先生方、数多くの助言を下さった先輩方、この記事の依頼を下さった新行内さん、その他多くの方々に、この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。皆さんのご協力をなくして新歓の成功はありえませんでした。本当にありがとうございました。

Communicated by Shinobu Satoh, Received August 13, 2008.